

# 足利大学通信



## 『地域DX化教育プロジェクト』成果報告会

3月28日(金) 足利商工会議所にて足利大学『地域DX化教育プロジェクト』の成果報告会が行われました。

これは、足利大学とあしかが産学官連携推進センターが主催で行っている地域の連携事業で、本学、足利市、足利商工会議所が協力して地元企業から依頼を受け、課題解決を目指すゼミ科目です。企業から集めた課題を学生達にチャレンジしてもらうことで、より実践的で具体的な情報教育を目指すプロジェクトになっています。

今回取り組んだ課題は11件あり、企業から寄せられた情報化に関する課題をあしかが産学官連携推進センターで集約し、学生が授業の内容として取り組みました。地域に根付いた大学として地域産業の活性化に貢献することで、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進することを目的としています。

地域DX化教育プロジェクトは、2024年度から工学部授業科目として開講し、参加した1～4年生が課題に取り組みました。学内では指導にあたる平石教授のもと、毎週月曜日の昼休みに学習支援室に集合し各課題の進捗状況を確認しました。また、チームコミュニケーションツールSlackを使って企業の方ともオンラインミーティングを繰り返し、アプリなどを作成しました。学生たちは、スマホやパソコンなどデジタル技術を駆使して取り組んだ内容や成果物、今後の課題などを発表しました。IT企業からのプロ

グラミング学習教材、足利市の観光名所を紹介するクイズ、工数実績データの入力アプリ作成など幅広い内容の報告がありました。一部テーマについては、期限内に完成しなかったものもありましたが、引き続きシステム情報分野で開講している創造性教育プロジェクトで完成を目指すことになりました。

終わりにあしかが産学官連携推進センター 小倉乃里子会長より「素晴らしい発表で、足利が今後も発展できると感じることができた。今後も諦めずに継続することが大切です。」とご講評いただきました。

今回制作された成果物は課題をいただいた企業様へ無償で提供されます。また、このプロジェクトは今後も学生の経験となるようなプロジェクトとして産学官で新たな課題を募集して継続していく予定です。この『地域DX化教育プロジェクト』は専門共通科目群の選択科目となっています。平石教授と采澤助教が担当しており、工学部すべての学生が履修可能です。



会場の様子



あしかが産学官連携推進センター  
小倉乃里子会長



社名/オグラ金属株式会社

内容/オグラ金属社員が創る世界一の魅せる化5S活動  
YouTube動画編集

担当学生/システム情報分野 3年  
SHERPA LAKPA TSHERI



僕がこのテーマを選んだ理由は、ボランティアで参加しているローターアクトクラブで金属加工をしている社長さんと話をする機会があったことから、金属加工について興味を持ちました。5S活動の推進ができるように映像撮影と編集してYouTubeの動画を作成しました。毎週Slackを使って企業の担当者さんと打ち合わせをしながら、計4回会社に行って制作を進めました。最初に作った動画は7分30秒もあって、そこから短くするように編集するのが大変でした。後輩のみなさんも、大変貴重な経験になるので、ぜひやって欲しいです。僕もやって良かったと思っています。

社名/唯翼塾

内容/ホームページ作成

担当学生/システム情報分野 3年 廣澤 杏莉  
システム情報分野 3年 國安 なる



私達は授業で『Webデザイン』や『Webプログラミング』を受講していたので、そこで学んだことを活かしてみたいと感じたため、このテーマを選びました。11月から毎月2回程度オンラインで塾の先生と打ち合わせをしながら制作していきましたが、授業で学んだことが活かされて、非常に面白かったです。限られた期間で成果を出さなければならないので就活しながらのスケジュール管理は大変ですが、ぜひ大学で学んだ技術を活かせるテーマを選んで欲しいです。



社名/あしかがラーメン

内容/2Dキャラクターの3Dデザイン

担当学生/建築・土木分野 1年 大島 美幸  
システム情報分野 1年 鈴木 茜音  
システム情報分野 1年 荒川 響



このテーマを選んだ理由は、2Dだけでなく3Dのキャラクターを作る技術を身に着けたいと思ったからです。また、建築の分野に進む際に3Dのソフトを使えると、できることが広がると考えました。3人で一緒に挑戦しましたが、キャラクターのイメージを作って、3DCGソフトBlenderを使って制作していきました。企業の方とは、チャットで近況報告しながら、毎週月曜日の昼休みに集まって、方向性を決めていきました。それと大切なこととして、実際にお店に伺って、食事をしながらイメージを合わせていきました。企業の方とも話すチャンスがあって、新しいスキルも身につきます。1つの課題を期限内に解決するのは難しいですが、ビジネスマナーも知れて、大きな経験になったと思います。ぜひ挑戦して欲しいですね。

社名/菊地歯車株式会社

内容/Microsoft Office365の活用提案・SNSを活用した社内イベントの立案

担当学生/システム情報分野 1年 大極 優輝



このテーマを選んだ理由ですが、Office365を授業で使っていて、便利に使われていない機能があるのではないかと気になったためです。実際に使用方法を調べていくと、まだまだ使われていない機能が複数あり、これを企業の方へ提案してみることにしました。提案する時に、使ってもらいやすいようにマニュアルを作って、実際の運用案を報告させて頂きました。この授業は1年生でも受講できるので、参加して欲しいです。



社名／ハートランド・データ株式会社

内容／Scratchによる小学生向けのコンテンツ作成

担当学生／システム情報分野 1年 菊地 海七太

システム情報分野 1年 河原 誠祥

システム情報分野 3年 吉江 瑠哉



今まで授業を受けることはあっても、プログラムを小学生に作らせるなんてことは考えたこともなかったので、このテーマが楽しそうに思えました。小学生がScratchを使ってゲームを作成し、どのように遊ぶかを想像しながらゲーム制作の説明書を作っていくことは非常に面白かったです。企業の方とSlackを使ってミーティングしながら、制作物が少しずつわかり易くなっていくことは、貴重な経験になりました。実際に業務内容を学ぶ機会は、将来自分の力になると思いました。

社名／有限会社日光商事

内容／ビニロン袋の認知拡大戦略

担当学生／システム情報分野 1年 GAMAGE NIPUNI JAYANGA

建築・土木分野 1年 JAYATHILAKA NANAYAKKARA HARINDU IMANTHA SEPALA SENEVIRATHNA

システム情報分野 1年 GUNETHTHI SACHITH NIKASH EDIRISINGHE



私達は、デザインやPRに興味があって、このテーマを選びました。会社に訪問させて頂き、実際にPRするものを作っている現場や商品の説明を受けて、このテーマのやりがいを感じました。ランディングページを実際を作って、Photoshopを使ってより良いデザインを作る経験が得られました。また、日本語の難しさを改めて認識することができ、正しい表現を使うことの重要性を知ることができました。本当に参加して良かったと感じています。

## 平石教授の総括



進捗状況説明をする平石教授

今年度から学生教育と学生と地域社会とのつながりのために開始された「地域DX化教育プロジェクト」は、学生に学生に実社会の課題にチャレンジしてもらい、より実践的で具体的な情報教育を目指す授業としてスタートしました。大学で学んだことを、どのように現実社会で役に立てることができるのか実感してもらおうと同時に、学生の地域貢献、地域社会のDX化を目標とする情報教育プロジェクトとして、地域の課題解決を目的としています。

実際に開始して分かったことですが、受講生を2・3年生として想定していたのに対し、3年生はインターンシップや就職活動があり、あまり希望者が出ませんでした。また、学生の担当者を決定するまでに思ったより時間がかかってしまい、10月スタートで準備していましたが11月下旬の開始となり、学生たちは限られた時間の中で課題解決することになりました。

今後の課題として、継続が必要な課題の引継ぎをどのように進めるか検討が必要です。また、当初は半期毎に新規課題の募集を行う計画でしたが、継続の課題が多く、2・3年生の「創造性教育プロジェクト」という実習科目で継続課題を対応していきます。次年度は、6月頃から新規課題の募集を実施して、後期(10月)から新規課題を実施する予定です。地域の企業で学生に実施してもらう課題(作業内容)で具体的なものがありましたら、ぜひ参加をご検討ください。



ホームページを開設して課題を募集



学内で定期ミーティングして進捗の相談



現場の取材



企業に訪問して内容確認



## 病院祭「ハートクロスフェスタ」に看護学部の 在学生在ボランティア参加しました

5月10日（土）足利赤十字病院の病院祭「ハートクロスフェスタ」に看護学部の在学生在がボランティア参加しました。

体験ブースやゲームコーナーなど、参加者のみなさんが楽しめるようにお手伝いさせていただきました。



## 本城キャンパスに日本最初の 看護師 大関 和<sup>チカ</sup> 先生の手記を展示

大関和先生は、栃木県出身の日本初の看護師で近代日本における看護師の礎を築きました。また、看護師を女性の自立した職業として確立させました。

この手記は、地域史の研究者として本学に教員として在籍していた大沼美雄先生から頂いたもので、本城キャンパスの3号館の入口に展示されています。

2026年に大関和先生を題材とした朝の連続ドラマが放映される予定です。



## 機械分野の飯野研究室に水素装置が 導入されました

今回導入された水素発生装置は水から水素を作り、水素吸蔵合金タンクに貯めて水素発電など学内外の教育研究に活用されます。

新開発した水素吸蔵合金タンクは非常に爆発の危険性が少なく、松下研究室、飯野研究室、那須電機鉄工（株）と共同研究で開発しました。また、実用タンクはレアアースの使用もなく、常温・大気圧付近で水素貯蔵できるので、非常に安全性が高いのが特徴です。

今後は、水素を使った実験が多くできるようになる予定です。



## 留学生向けに足利良いところ紹介ツアーが 行われました

5月10日（土）足利市役所と足利観光協会の協力で、足利良いところ紹介ツアーが行われました。

足利大学からバスで市内の観光地を見学し、着物の着付け体験や浴衣の貸出、足利市の魅力を十分に紹介してもらいました。

参加した留学生からは「こんなステキな町だと知らなかった。もっと足利が好きになった」というコメントもありました。また、家族や友達にツアーで体験した写真を送っていました。





## 新コース「ライフデザインコース」がスタート

2025年4月からライフデザインコースがスタートしました。『まちづくり』と『デジタル・トランスフォーメーション (DX) 』に繋がるPBL科目に取り組み、課題解決能力やコミュニケーション能力に優れた人材を育成していきます。

PBL科目のテーマの一つである「スポーツデータサイエンスプロジェクト」は、実際にスポーツ選手の動きを計測し、収集されたデータを統計やデータサイエンス手法を用いて分析を行い、選手のパフォーマンス改善を目指すプロジェクトです。



ライフデザインコースでは「スポーツデータサイエンスプロジェクト」に向けて新たなシステム「ラプソード」を導入しました。研究用に



導入されたラプソードは、プロ野球やメジャーリーグでも使われているもので、スピード、回転数、回転効率、リリースの高さ、変化量など今まで分からなかったことが分かる機械で、練習の効率化やパフォーマンスの向上、チーム戦略の立案などに効果が期待されています。

※PBL科目 (学生が主体的に課題を発見し、解決策を探求する学修科目)

## 2025年度 新任教員の紹介



すえなが やよい  
末永 弥生 先生

看護学部 教授

担当 看護学概論  
科目 基礎看護学方法論Ⅲ・Ⅳ

配属された本城キャンパスでは、鳥のさえずりが聞こえる自然に囲まれたキャンパスという印象を持ちました。心静かに学べる豊かな環境だと感じています。学びたいという学生の皆さんの思いに添えるよう、誠心誠意取り組みたいと思います。



すずき あけみ  
鈴木 明美 先生

看護学部 准教授

担当 成人看護学方法論Ⅰ  
科目 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ

足利市は古くからの高等教育機関発祥の地でもあり、歴史ある土地柄と思っています。臨床では認定看護師として、がん患者さまと向き合ってきました。この足利の地で学ぶ皆さんと共に、病をもって生きる人々への看護を深めていきたいと思います。



いけだ のりこ  
池田 法子 先生

教職課程センター 講師

担当 特別支援教育論  
科目 教育相談

工学部・看護学部の教職科目を担当しています。専門分野は社会教育・生涯学習、特別支援教育です。子どもとともに学び、成長していけるような教員養成を目指し、教育・研究に励んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



建築・土木分野

教授

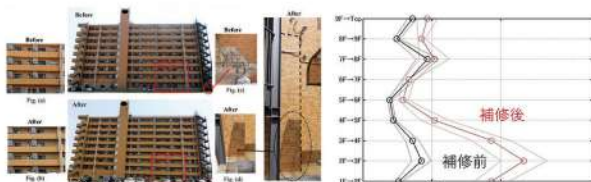
王欣 先生

おうきん



### Q1 先生の研究内容について教えてください

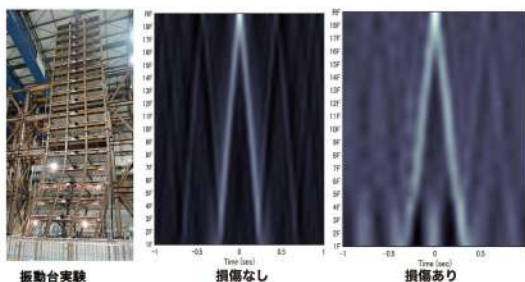
私は、構造物の地震時挙動の可視化と健全性評価をテーマに、波動伝播解析・AI技術・物理ベースモデルを融合した研究に取り組んでいます。具体的には、建物の地震応答を波動として捉え、伝播する波動から建物の減衰性能や損傷分布を推定する新しい評価手法を開発しています。実験室内での建物模型の振動台実験や、実構造物の応答計測と数理解析を組み合わせることで、従来の「地震後に目視で確認する」方法に代わる、迅速・定量的な診断技術の構築を目指しています。さらに、災害後のドローン点群データや建物外観画像を活用し、建物の構造形式や築年数をAIで推定する技術にも取り組んでおり、建築DXの推進にも寄与しています。



地震被害の補修前後の波動伝播速度の変化

### Q2 この研究が日常生活にどのような効果や影響がありますか？

私たちが暮らす住宅や学校、病院、公共施設の多くは、地震や老朽化に伴うリスクを抱えています。私の研究がこれら建物の「見えない損傷」を把握できる診断手法として、維持管理や耐震補強の計画に活用されることが期待されています。



見えない損傷を把握するための実験

また、災害直後の応急対応において、建物の安全性を素早く評価できる仕組みは、避難判断や救助活動の方針決定にも大きな意味を持ちます。将来的には、一般家庭でも使える簡易診断アプリや、自治体向けの建物台帳AI化支援ツールなどへと展開していくことを構想しています。



地震挙動を可視化するアプリ

### Q3 この分野に興味を持ったのは、どのような経緯があったのでしょうか？

私がこの分野に深く関心を持ったきっかけは、大学院時代に参加した地震被災調査でした。表面的には無事に見える建物でも、内部に重大な損傷がある事例を数多く目にし、「人の目だけでは見抜けない構造的リスク」を実感しました。

この経験から、「見えない損傷を科学的に解明し、社会に役立てたい」という思いが芽生え、波動工学やAIといった異分野の知識を取り入れた研究に挑むようになりました。

### Q4 授業を通じてどんな学生を育てたいですか？

構造工学や建築防災という分野は、社会の安全と直結する責任ある領域です。私は授業を通じて、「問題発見力と応用力を備えた、実践的なエンジニア」を育てたいと考えています。

講義では理論だけでなく、現実の問題にどう対応するかを常に意識し、演習や卒業研究では学生自身が課題を設定し、答えを模索する経験を重視しています。「知識を活用して社会の役に立てることの面白さ」を感じ取ってもらえたら、教員として何より嬉しいことです。

### Q5 足利(または足利大学)についてご感想をください

足利大学は、学生と教員の距離が近く、教育と研究が融合した理想的な学びの場です。研究面では、分野横断的な連携や若手の挑戦も尊重され、自由度の高い環境が整っています。

足利市は歴史と自然に恵まれ、研究や教育に集中できる落ち着いた雰囲気があります。学生にはこの恵まれた環境を活かし、技術だけでなく人間性も兼ね備えた技術者として羽ばたいてほしいと願っています。



## フィットネストレーニングクラブ

フィットネストレーニングクラブは創部27年を迎え、基礎体力の向上はじめ、自分自身を磨き上げること、思いやりのある人間形成を目指す筋トレ好きの集団です。日頃の部活動はAUGアリーナ2階フィットネスルームで、月・火・木・金曜日の放課後と土曜日の午後に行っています。部員は例年約30名が



活動しており、グループ別に週2回以上の参加により、理想の体型と体力を目指しています。また昨年度から看護学部グループも結成し15名前後の部員が活動しています。

その他、自分磨きの活動として2011年から毎年4月と9月の全国交通安全週間に足利警察署の依頼を受け、「とちぎ学生交通安全リーダー」として交通安全啓蒙活動にボランティアとして参加するなど、足

利市民の交通事故防止対策に貢献しています。

大学生の時期に体力を向上させて、理想に向けて自分磨きを行い、学生生活をリフレッシュしましょう！



## ピアエデュケーションサークル Moiré

サークルMoiréは、共に学び合うことを目指して、仲間(ピア)による教育(エデュケーション)活動を実践しているサークルです。2016年度より高校生対象の性に関する出張講話を始め、これまで延べ36校、約6,500名の活動実績となりました。

2020年より新型コロナウイルスの影響で動画を作成して活動をつないできましたが、2023年より対面による活動を再開しています。2025年は県内外の6校から活動の機会を頂きました。

医学の基礎知識をもとにLGBT/SOGI・ライフプラン・妊娠/中絶・デートDV・性行為&STDの5つのテーマで、分かりやすく説明するため教材や教育方法を工夫しました。熱心に聞いていただけていることが、私たちのエネルギーになり、さらに頑張る意欲に



なっています。

看護学部の学生だからこそできる活動をこれからも企画し、私たちなりの社会貢献を目指して活動しています。



第57回



# わたらせ祭

テーマ

一蓮托生

会場 大前キャンパス

10/12日・13

スポーツの日  
月祝

10:00～18:00



## ステージ企画

- A.U. Music Style (軽音部) による演奏
- 空手道部による演武
- お笑いライブ
- アーティストライブ
- 抽選会 など

## 模擬店

- 射的 ● たこ焼き
- ポテト ● やきとり
- 留学生による各国の料理 など

- 工学部の各分野の展示
- 看護学部の展示

皆様のご参加を  
お待ちしております♪

最新情報や詳細は、こちらでチェック！



@ASHIKAGA.UN\_WATARASESAI

模擬店の出店・展示・ステージ企画など楽しい催しが盛りだくさんです！  
さらに芸人やアーティスト企画など、わたらせ祭を盛り上げていきます。

## 編集後記

今号では掲載することができませんでしたが、硬式野球部とサッカー一部が熱戦を繰り広げていました。野球部は首位に完封勝利するなど見事な活躍で勝利を重ね、鉄壁の守備で観客を魅了しました。一方、サッカー一部は天皇杯予選の2回戦でJ3栃木シティ相手に善戦。プロ相手に2点挙げる活躍と巧みなパスワーク、最後まで諦めない姿勢で会場を沸かせました。両部の情熱と団結力に心を打たれました。この他にも足利市長

への大学地域連携支援事業「竹あかりによる足利まちなか賑わい創出」の活動報告会など掲載しきれないイベントがありました。

足利大学広報誌 足利大学通信

発行人 末武 義崇 発行 足利大学  
編集 足利大学通信編集スタッフ 326-8558 栃木県足利市大前町268-1  
発行日 2025年7月25日 0284-62-0605

<https://ashikaga.ac.jp>